

# 層雲峡ビジターセンター



〔大函のフロストフラワー・1月〕

## 冬の川面に咲く神秘的な花、フロストフラワー

厳冬期にだけ見ることができる、まるで花のような氷の結晶「フロストフラワー」。これは特定の条件のもとでしか現れない現象で、①水面が凍っていて雪が積もっていないこと。②気温が $-15^{\circ}\text{C}$ 以下であること。③ほぼ無風であること、の3つの条件を満たした場合のみ見ることができます。形は様々で、バラのように大きくなるものや鳥の羽のようなもの、針状のものなどいろいろありますが、どれも美しく繊細で、つい時間を忘れて見入ってしまいます。

この、天気・気温・風と条件がすべて揃わないと現れない神秘的な花「フロストフラワー」は層雲峡の石狩川（大函）やニセイチャロマップ川で見ることができます。ガラス細工のようなフロストフラワーの花畑を見に、ぜひ、層雲峡にいらしてください。



（冬季観察会の様子～早乙女の滝～）

☆層雲峡ビジターセンターでは、1/21～2/19まで毎週土・日に冬季観察会「氷の世界へ」を開催しています。スノーシューで層雲峡峡谷を歩き、間近で氷瀑や氷柱、霜結晶を観察することができるお勧めのプログラムです。ぜひ、ご参加ください！（詳細はHPをご覧ください。）

## もっと知りたい！層雲峡

～当センターのスタッフが、皆さんに知ってほしいことや  
あまり知られていない層雲峡のあれこれをご紹介します～

### フィールドノートの表紙で見る大雪山の風景

層雲峡ビジターセンターでは2007年から一年間の山の様子や出来事をまとめた記録として毎年フィールドノートを作成しています。このフィールドノートの表紙は、大雪山の印象的な景色や動・植物たちをモチーフにした切り絵（2011年・2012年のみデジタル作成）で構成されており、すべて当センターのスタッフが心を込めて作った自慢の作品です。写真ではなく、切り絵で表現しているというのがポイントで、大雪山の風景を味わいのある魅力的な絵で楽しむことができます。

これまでに発行されたフィールドノートはすべて当センターに展示してあり、自由に閲覧することができます。お立ち寄りの際は、ぜひご覧になってみてください。（高橋）



【フィールドノート】



〈2007〉

クモイリンドウ



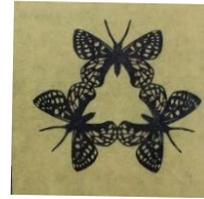
〈2008〉

大雪原生林



〈2009〉

エゾナキウサギ



〈2010〉

ウスバキチョウ



〈2011〉

ギンザンマシコとナナカマド



〈2012〉

エゾモモンガ



〈2013〉

雲井ヶ原湿原と  
タチギボウシ



〈2014〉

黒岳・マネキ岩と  
エゾノハクサンイチゲ



〈2015〉

緑岳直下より高根ヶ原と  
トムラウシ方面（6月末）



〈2016〉

オオルリ  
（5月初旬）



〈2017〉

エゾツツジ



〈2018〉

ミヤマエンレイソウ



〈2019〉

ミズバショウ



〈2020〉

ホシガラスとハイマツの実



〈2021〉

チシマノキンバイソウ



〈2022〉

エゾタカネスマレ

### 今年は卯(うさぎ)年！

右の写真は、何の動物の赤ちゃんかわかりますか？正解はエゾユキウサギ。手のひらにすっぽり収まるくらいのおおきさで、小さい耳に大きな目がとってもキュートです。



エゾユキウサギは上川町内だと旭ヶ丘や上川公園などでよく見かける馴染みのある動物ですが、生まれて間もない赤ちゃんウサギを目にすることはめったにありません。

今年は卯年。エゾユキウサギの赤ちゃんに出会えたら幸運が舞い込むかも？！



冬の芸術



層雲峡で見かけた窓霜です。まるで絵画のよう。自然が創り出した芸術です。

### 層雲峡ビジターセンター

電話 01658-9-4400

ウェブサイト <http://sounkyovc.net>

〒078-1701 北海道上川郡上川町字層雲峡